

目次 外観パース編

外観パース作成	3
アングル作成	4
ビューパネル	4
アングル調整	4
アングルの記録	5
背景設定	6
植栽の配置	7
素材変更	8

目次 内観パース編

内観パース作成	9
アングル作成	10
高さ	10
仰角	10
画角	10
設定の保持	11
アングルの記録	11
素材変更	12
インテリアの配置	13
仮想光源	15
光源	16
光源のみの入力	16
光源と照明器具のセット	16
IES 光源	18
視点の編集	19
スタイルデザイン	20
スタイルデザイン（家具）	21
画像の保存	22

外観パース編

外観パース作成

外観パースを作成する上でのポイントを紹介しています。
ポイントを押さえながら、外観パースを作成していきましょう！

【before】



【after】



アングル作成

■ビューパネル

「ビューパネル」をクリックします。

アングルをとる場合は2点指示します。

1点目が立ち位置、2点目が見る方向です。

+ 補足

ビューパネル内の3本線は以下を意味します。

a : 立ち位置

b : 視点 (見る方向)

c - c' : 視野 (見える範囲)

+ 補足

ビューパネル操作の詳細は
「レッスン 3-1 サンプル入力」を参照

■アングル調整

目線の高さや見上げる角度など数値で設定できます。

「高」…目線の高さ

1500 ~ 1800 で設定

「仰」…建物を見上げる角度

5 ~ 10 で設定

「画」…視野 (見える範囲)

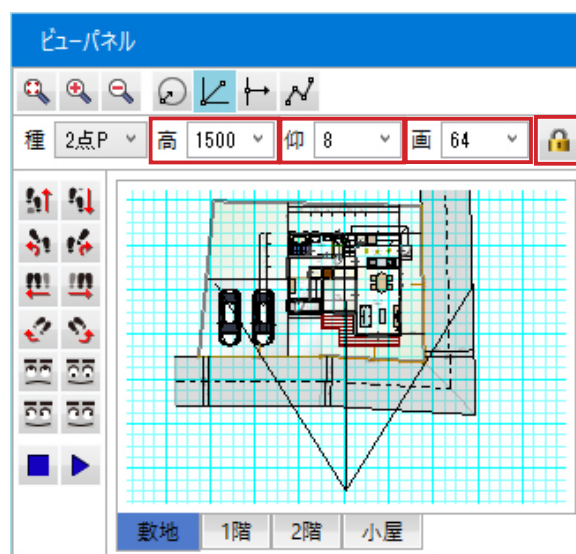
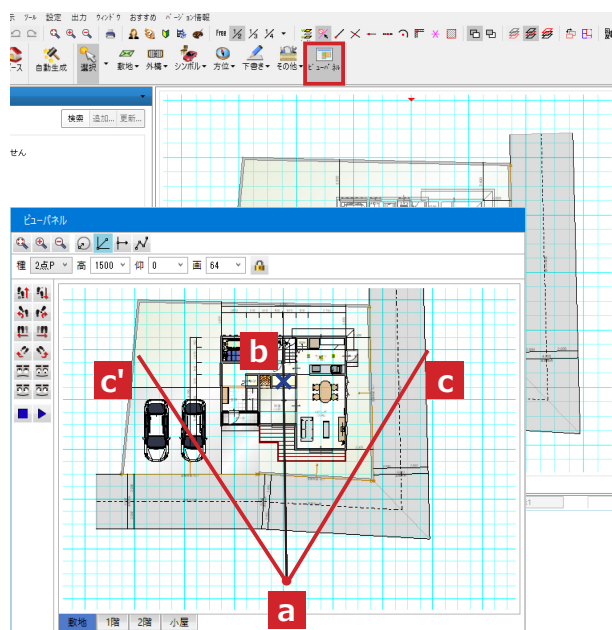
47 か 64 で設定

 …設定の保持

一度設定した数値を保持する

+ 補足

アングル調整の詳細は、内観パース編を参照。(P9)



■ アングルの記録

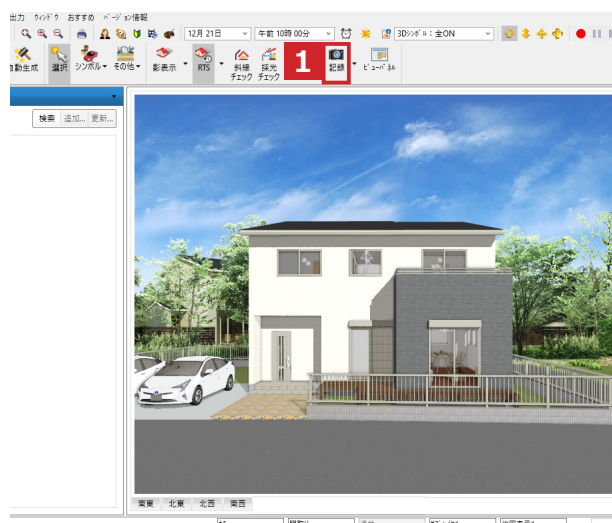
アングルが決まったら、1「記録」をクリックします。

2 名称を入力し、3「OK」をクリックします。

画面左下にタブが追加されます。
アングルを記録しておけば、いつでも記録したアングルに切り替えが可能です。

+ 補足

タブの順番は左ドラッグで変更できます。
平面から切り替えた場合、一番左のタブが開かれます。



背景設定

背景を変えることで外観パースの雰囲気も変わります。

パース画面で 1 「設定」 から 2 「背景」 を選択します。

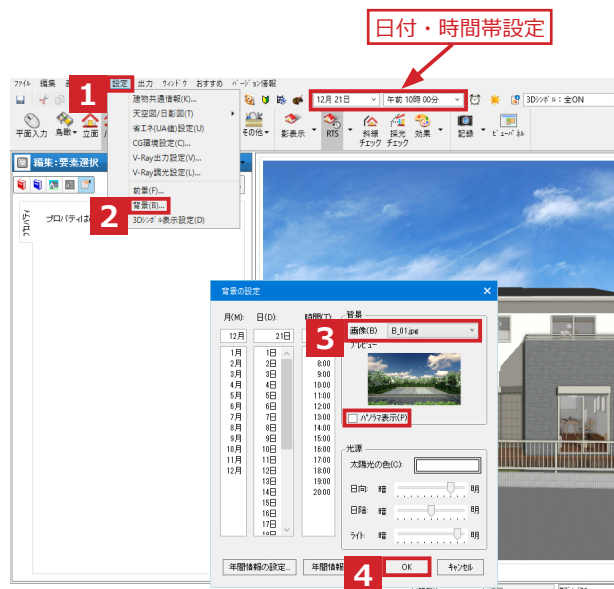
背景の設定画面の 3 「画像」 を任意の背景に設定し、 4 「OK」 をクリックします。



パノラマ表示のチェックは外してください。



日付や時間帯を変更することもできます。



背景変更



【単色ホワイト】



【街 (夕)】



【H012 (fit)】



【B_01】



【時間帯 : 16 時】



【時間帯 : 20 時】

植栽の配置

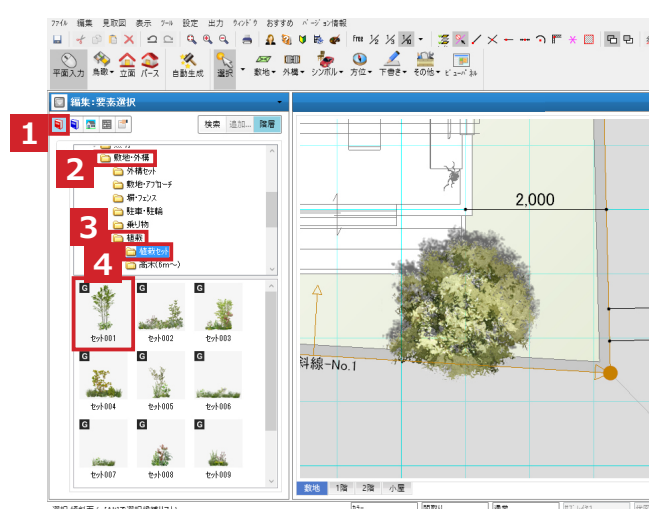
建物端部の1カ所を隠すと安定したイメージになります。

Walk in home には複数の植栽がセットになったものがあるので、外観パースを作成する際はおすすめです。

- 1 「赤辞書」を開き、2 「敷地・外構」から
- 3 「植栽」をクリックします。
- 4 「植栽セット」の中から任意の植栽を選択し入力します。

植栽の根元部分が見えてしまうと、不自然に見えてしまうので背の低い植栽で根元を隠します。

個別に入力する場合は、高い植栽、低い植栽合わせて入力しましょう。



【中木のみ】



【中木と下草】

素材変更

外壁や窓ガラスなど素材を変えることで外観パースの雰囲気も変わってきます。

- 1 「素材」の2 「金属・ガラス」から
- 3 「窓ガラス (映込2)」を左ドラッグします。

ここで一度影表示をかけます。
画像やプレゼンボードに出力する際は、必ず影表示された状態で出力されるため、出力時の確認にもなります。

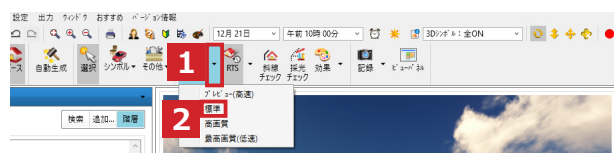
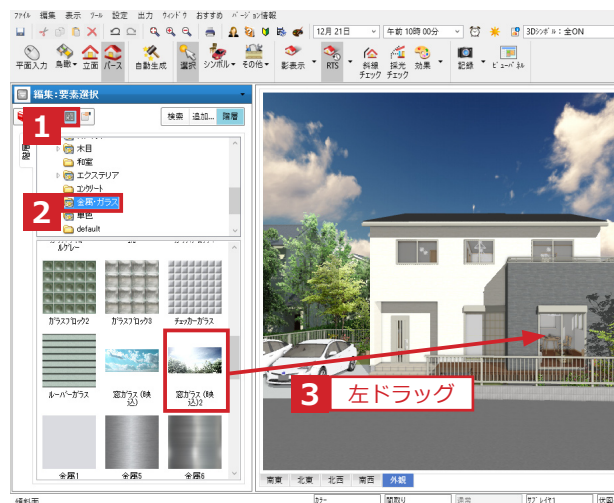
- 1 「影表示」の「▼」から2 「標準」をクリックします。

+ 補足

影表示の詳細に関しては、
「レッスン 3-1 サンプル入力」を参照。

窓ガラスに映り込みがあるパースの方がリアルなパースに見えます。

外壁材など変更する場合も、「素材」アイコンからドラッグして変更します。



【窓ガラス:デフォルト】



【窓ガラス:映り込み】



【外壁材など変更】

内観パース編

内観パース作成

内観パースを作成する上でのポイントを紹介しています。
ポイントを押さえながら、内観パースを作成していきましょう！

【before】



【after】



アングル作成

「ビューパネル」でアングルを作成します。

■高さ 目線の高さ

内観パースは 800 ～ 1000 で設定。

※外観パースの場合は 1500 ～ 1800 で設定します。（人が立っているときの高さ）

■仰角 見上げる角度

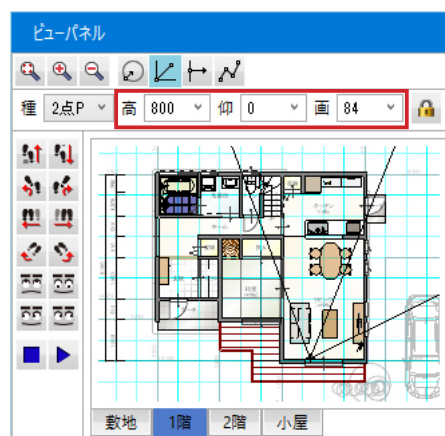
内観パースは 0 で設定。

外観パースの場合は、5 ～ 10 で設定します。

■画角 視野（見える範囲）

画角を広げると見える範囲を調整できます。

狭い洗面所を例にすると、画角 64 では折戸が見切れていますが、画角 104 では画面上に全て入っています。



【H=800】



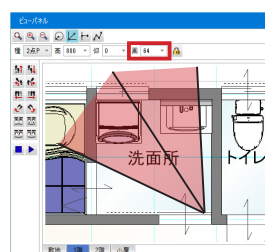
【H=1500】



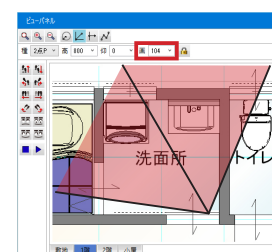
【仰角 0】



【仰角 10】



【画角 64】

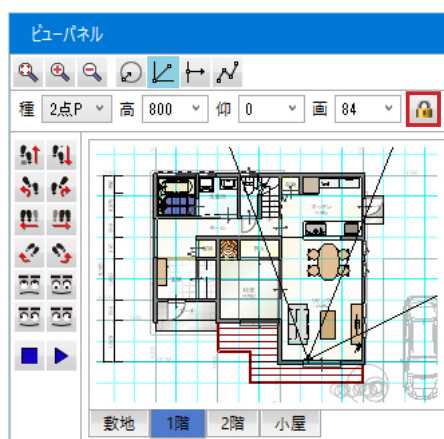


【画角 104】

■ 設定の保持

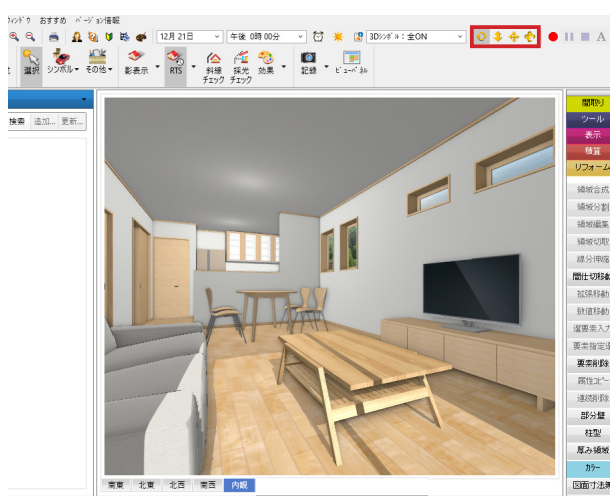
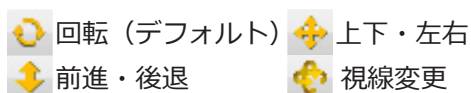
一度数値を設定しても立ち位置を変更すると設定値がリセットされます。

設定した数値を保持する場合は、ビューパネル画面の「鍵マーク」をクリックしてください。



数値で設定した後、アングルを微調整する場合は、「視点決定」のアイコンを使用しましょう。

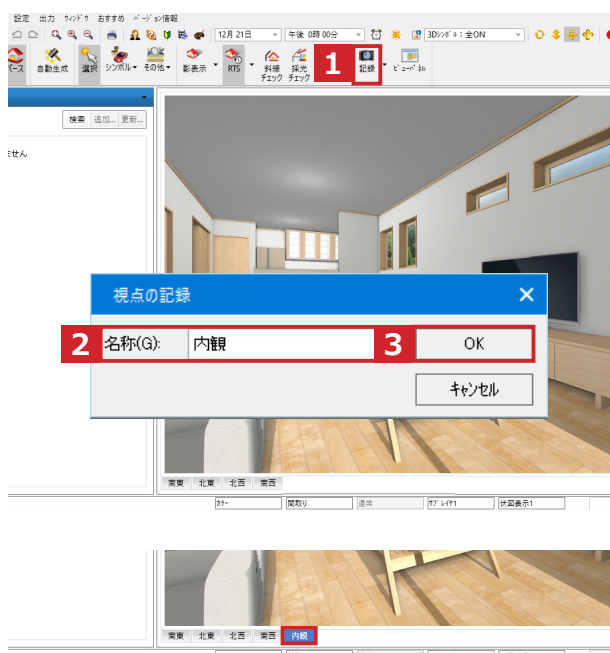
「視点決定」アイコンで目線や立ち位置の変更ができます。



■ アングルの記録

アングルが決まったら、1「記録」をクリックします。

2 名称を入力し、3「OK」をクリックします。画面左下にタブが追加されます。



素材変更

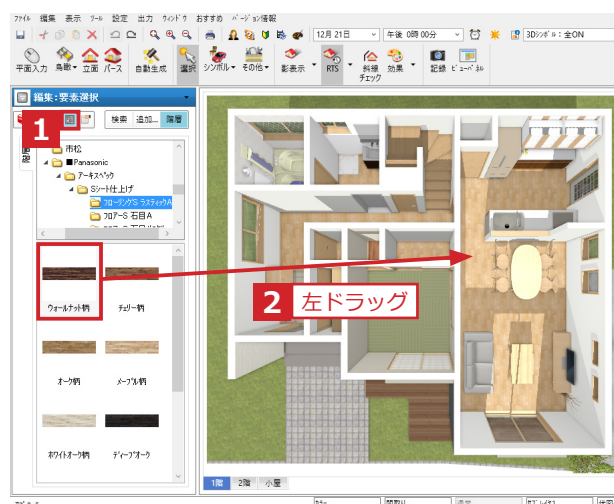
フローリングを変更していきます。

1「素材」から任意の床材を2左ドラッグします。

左ドラッグすると全ての部屋の床が変わってきます。

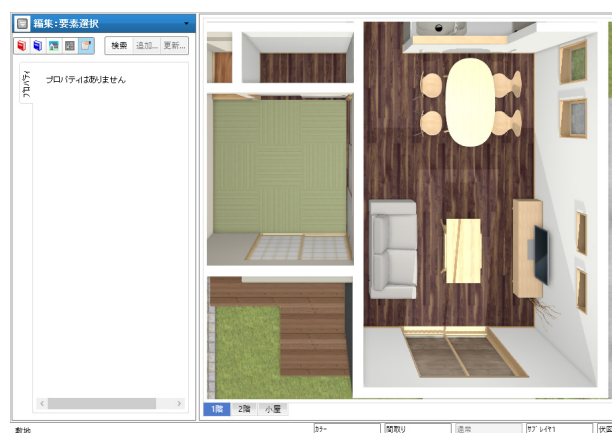
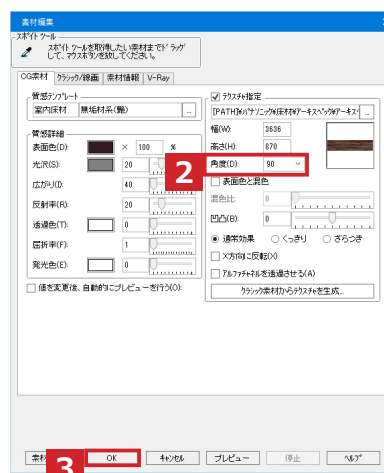
一部屋だけ変更したい場合は、素材を1右ドラッグし、2「個別変更」を選択します。

床目地の方向を変更したい場合は、1床の部分のをダブルクリックします。



「素材編集」画面で、

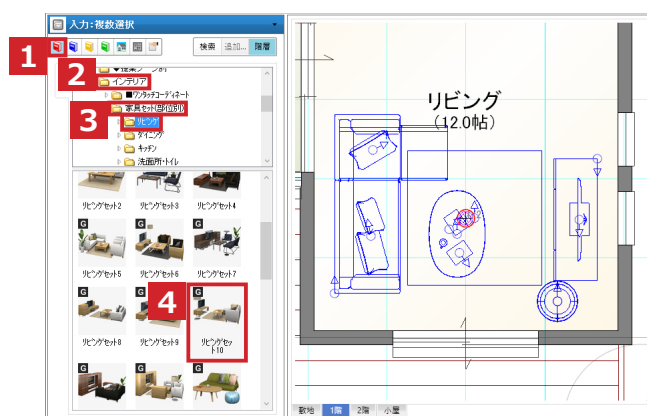
2「角度」を「90」に変更し、3「OK」をクリックします。



インテリアの配置

Walk in home ではあらかじめ複数の部材がセットになったものがあります。

1「基本辞書」から、2「インテリア」の3「家具セット（部位別）」を開きます。「リビング」の中から、4 任意のリビングセットを選択し、配置します。



家具セットには小物付きのものがありますが、追加での入力もできます。

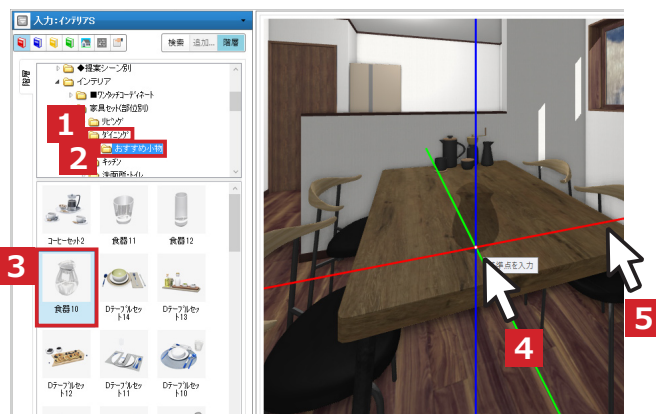
- 1 「ダイニング」の2 「おすすめ小物」 から
- 3 任意の小物を選択します。
- 4 1点目をクリックすると、1点目を中心に回転するので、5 方向を決めクリックします。

+ 補足

パースで入力すると配置しているテーブルの高さに自動的に合わせて入力されます。

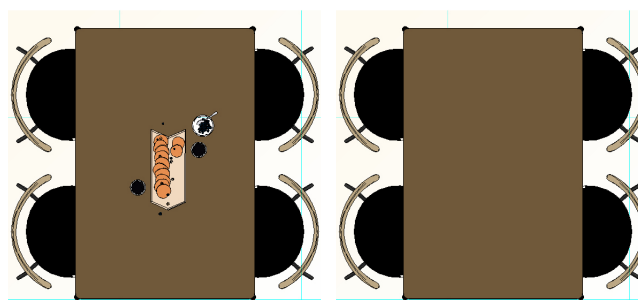
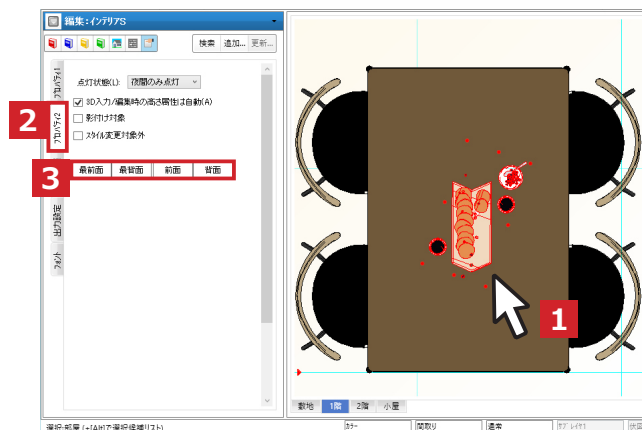
+ 補足

ガラス類は影表示をかけるとよりリアルに見えます。



配置したインテリアは平面にも反映します。また、平面上でのインテリアの表示順は変更できます。

- 1 変更したいインテリアをクリックし、
- 2 「プロパティ2」の3 「最前面」や「最背面」をクリックすると表示順を変更できます。



【最前面】

【最背面】

仮想光源

Walk in home では明るさを調整する際、光源を入力します。

光源を入力していない部屋には「仮想光源」が自動的に配置されます。

※仮想光源はパースでのみ表示される。

パース画面で仮想光源の表示をなくしたい場合は、1「表示」から2「光源」のチェックを外します。

+ 補足

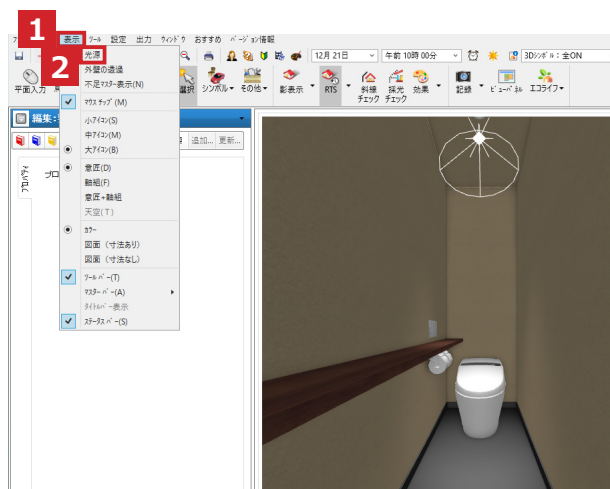
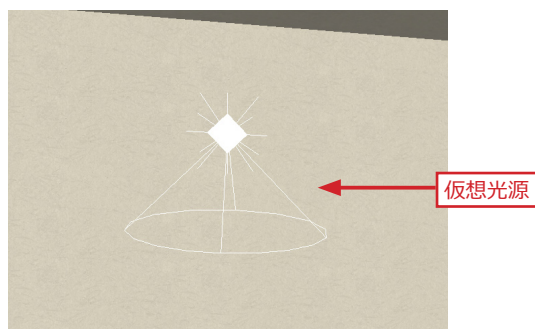
仮想光源、光源は「影表示」をクリックすると光ります。

仮想光源は部屋の広さによっては、ハレーションを起こす場合があります。

その場合、仮想光源がある部屋に光源を入力すると光の調整ができます。

+ 補足

仮想光源がある部屋に光源を入力すると仮想光源は消えます。



【仮想光源の場合】



【光源を配置した場合】

光源

明るさを調整したい場合、任意で光源を配置します。

光源のみの入力

Walk in home には、その部屋の帖数にあった明るさの光源があります。

(例) 部屋が 6 帖の場合

1「基本辞書」の 2「照明」から、
3「光源」を開き、4「光源 6 帖用」を配置します。

部屋の真ん中に光源が配置されます。

+ 補足

角の 4 つは補助点です。補助点を部屋の角に合わせて入力すると、光源が部屋の真ん中に配置されます。

光源と照明器具のセット

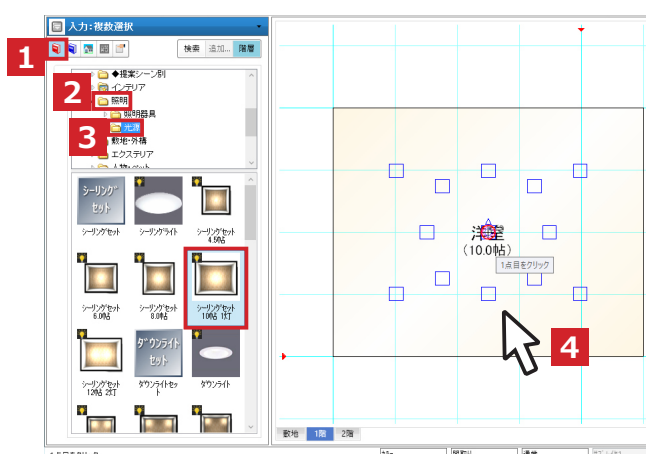
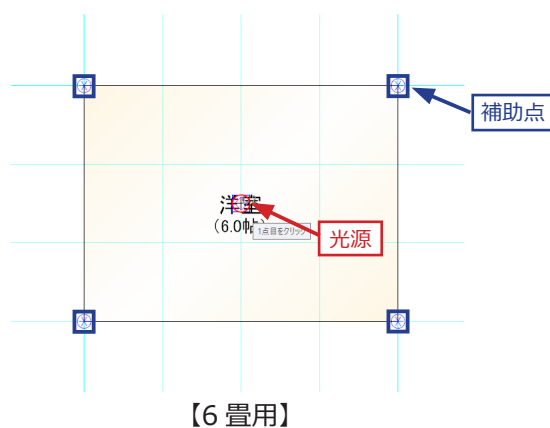
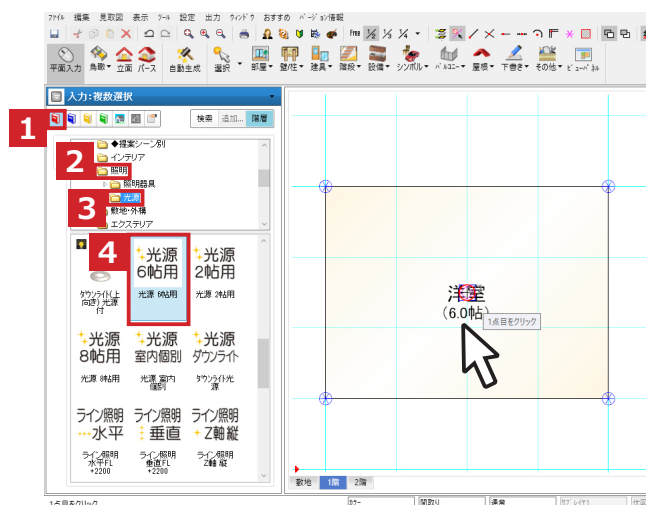
Walk in home には帖数にあった光源と照明器具を一括で配置できる光源セットがあります。

1「基本辞書」の 2「照明」から
3「光源」を開き、4 任意の光源を配置します。

+ 補足

シーリングセットだけでは光が弱い場合があります。

シーリングセットとダウンライトセットを組み合わせると全体的に明るくなります。



パースで光源は白い米印で表示されます。



【影表示前】

影表示をかけると光源が反映されます。



【影表示後】

一つずつ照明（ダウンライトの場合）を入力する場合は、

- 1 「基本辞書」を開き、2 「照明」の
- 3 「光源」から4 「ダウンライト」を
- 5 任意の場所に入力します。



影表示



IES 光源

IES 光源はスポットライトのように光る光源です。

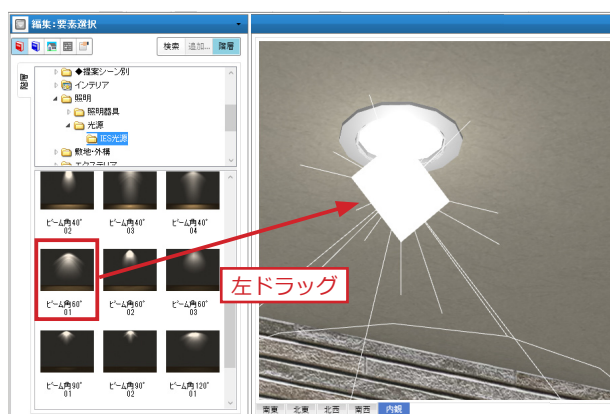
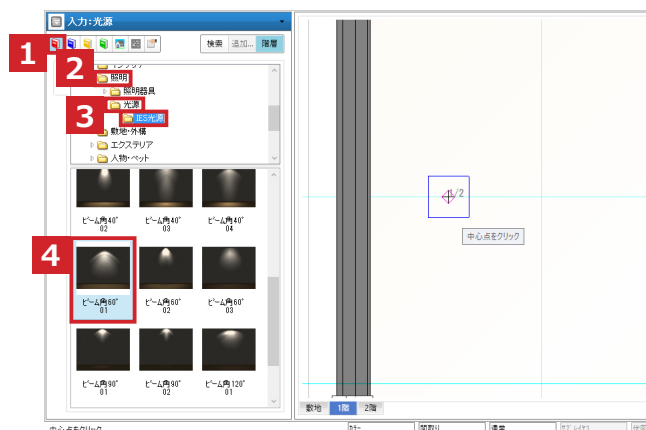
- 1 「基本辞書」を開き、2 「照明」の
- 3 「光源」から「IES 光源」を開きます。
- 4 任意の光源を選択し、配置します。

+ 補足

既に光源を配置している場合は、パース画面で左ドラッグすると入れ替えが可能です。

! 注意

IES 光源は光源のみです。
照明器具が必要な場合は、別途入力してください。



【変更前】



【変更後】

視点の編集

アングルごとに全体的な明るさや画像のサイズを変更できます。

変更したいアングルのタブを **1** 右クリックします。

明るさを調整する場合は、**2** 「明るさ」を変更します。

(-1 から 1 で調整できます。)

3 「環境光の明るさ」にチェックを入れると、表示される影の濃さを調整できます。

(0 から 1 で調整できます。)

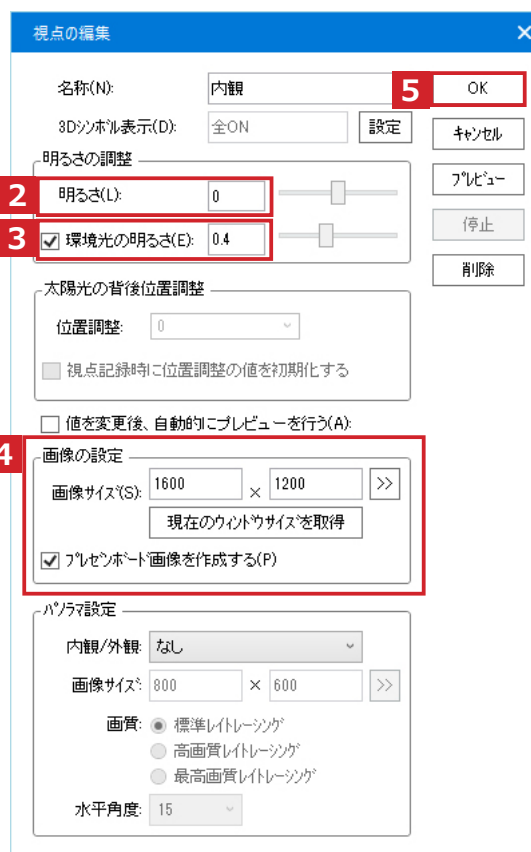
4 「画像の設定」で入力されているサイズがプレゼンボードや画像の保存で出力した時の画像サイズになります。

+ 補足

目安 A4 サイズ : 1600 × 1200

A3 サイズ : 2400 × 1800

変更できれば、**5** 「OK」をクリックします。



【明るさ : -1】



【明るさ : 1】



【明るさ : 0】
【環境光の明るさ : 0】



【明るさ : 0】
【環境光の明るさ : 1】

スタイルデザイン

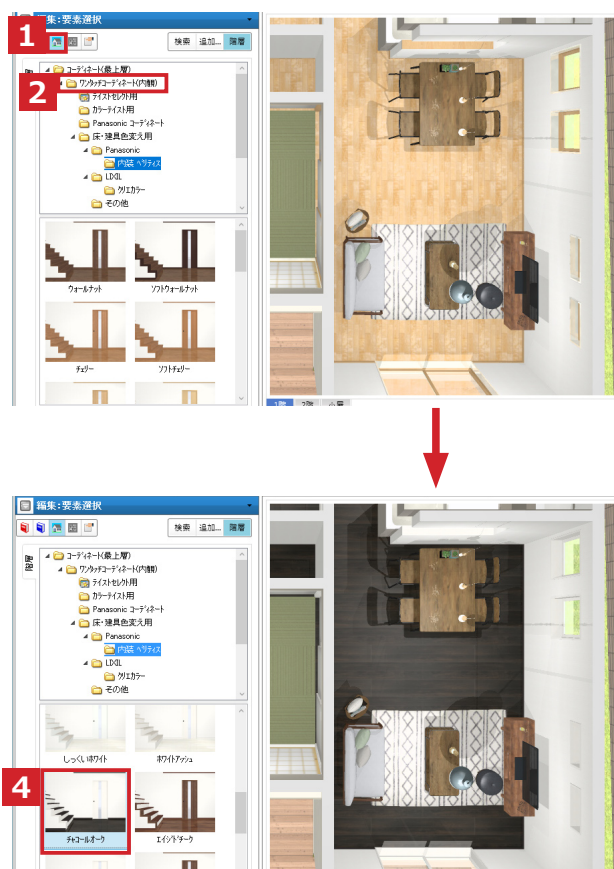
床・巾木・壁・建具・廻り縁の素材、
またそのスタイルに合わせてインテリアを
一括で変更できます。

1「スタイルデザイン」を選択し、2「ワ
ンタッチコーディネート(内観)」を開きます。

3「床・建具色変え用」から4 任意のスタイ
ルをクリックします。

+ 補足

「床・建具色変え用」はメーカーごとに
分かれています。



■ Panasonic 内装バリエーション



【ヴィンテージ】



【フレンチック】



【ヴィラリゾート】



【カジュアル】



【ジャパニーズモダン】



【スタイリッシュモダン】



【ナチュラル】



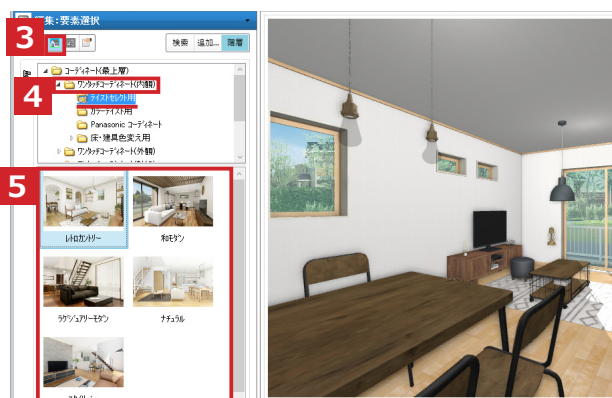
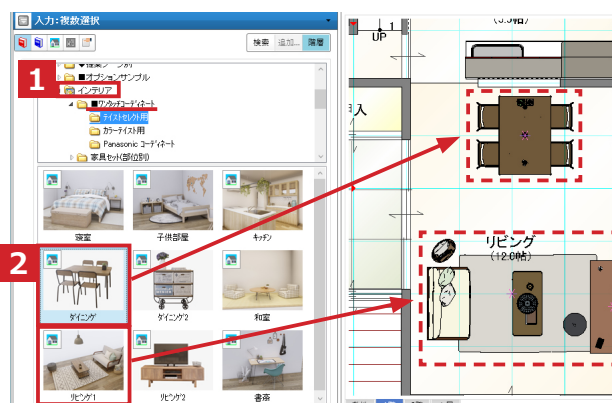
【モダンクラシック】

スタイルデザイン (家具)

インテリアを変更する場合は最初に特定のインテリアを配置します。

- 1 「インテリア」の「ワンタッチコーディネート」を開き、
- 2 任意の家具セットを配置します。

- 3 「スタイルデザイン」を選択します。
- 4 「ワンタッチコーディネート (内観)」の「テイストセレクト」から
- 5 任意のスタイルをクリックします。



■テイストセレクト用



【レトロカントリー】



【和モダン】



【ラグジュアリーモダン】



【ナチュラル】



【スタイリッシュ】

画像の保存

作成したアングルの画像だけ出力したい場合は、「画像の保存」を使用します。

出力したいアングルを開いた状態で、

1「ファイル」から2「画像の保存」を選択します。

3 任意の保存先に変更し、4「保存」をクリックします。

+ 補足

出力された画像は「影表示」がかかった状態で保存されます。

